

【B分科会 「年間行事予定表を見直す」】

記録者 原田 有美 (就実高等学校司書)

二部野陽子 (岡山朝日高等学校司書)

I ワークショップ

「年間行事予定表を見直す」

岡山理科大学附属中学校・高等学校 司書 福森 裕加

1 はじめに

この分科会はワークショップ形式です。このワークショップ形式の分科会をするに至った経緯を簡単にお話したいと思います。

備前支部司書部会では平成19年度途中より、「授業との連携」を共通テーマに3グループに分かれて研修に取り組んできました。

その1つのグループが図書館を使った授業のない学校の取り組み、働きかけ方グループで、授業がないなりに図書館でできることを考えていこうと研修を進めてきました。1つ目が「年間行事予定表からのアプローチ」、2つ目が「シラバスからのアプローチ」です。

ある学校の年間行事予定表とシラバスを見て、図書館でできることを考えていこうというものです。高校では学校によって様々な科・コースがあり、学習する内容も様々で、共通した教材で考える機会が少なかったように思います。今回、1つのものを見合い、情報交換をくり返すことで、自校で実践できるヒントが得られたり、視野が広がったり、自校での実践の改善点が見えてくる等、高校内だけでも色々得るものがありました。

そこで、小・中・高の司書が一つの年間行事予定表を見合い、図書館でできること、図書館だよりの内容等を一緒に考えることで、より視野が広がり、各校種でしていることの情報交換の中から自校で実践できるヒントをもらえるのではないかと思いワークショップを企画しました。

それでは、ワークショップの説明をしたいと思います。このワークシートを各グループ1枚配布します。A～Cグループは小学校版、D・Eグループは中学校版、F・Gグループは高校版になっています。この年間行事予定表をもとに、図書館でできる取り組み、図書館だよりの内容を考え、ワークシートに記入していただきます。行

事の付け加え・削除は自由です。すべての行事について考える、特定の行事について広げていくなど、方法は自由です。例えば食育・人権・サイエンス・などといったテーマを設定するのも自由です。最後に各グループ1分程度発表してもらいます。おすすめの取り組みを1つ、テーマがあればテーマも、そして発表者を決めておいてください。発表後、ワークシートを回収させていただきます。ご了承ください。

2 ワークショップ「年間行事予定表を見直す」

各グループ7人で約1時間作業をする。

3 グループ発表

【Aグループ】

古都小学校の三宅と申します。Aグループは小学校版の取り組みということで、小中高と話し合ったなかで、小中連携という形でのおすすめの取り組み、読書週間の取り組みで中学生の図書委員が出身校の小学校へ読み聞かせに行くという取り組みができました。

【Bグループ】

平井小学校の今中です。小学校版で話をしました。行事等を考えているなかで、読書週間等のイベントについて話をしていたところ、高校の実践が小学校でも使えるなということで、おすすめの取り組みはクイズなんですけど、図書館へ普段来ない人を集めるために、校内のトイレ等にクイズの問題を貼って、答えは図書館で確認してくださいという取り組みをしたところ、普段来ない人が来たというような報告がありまして、上手に言えば小学校でもできるかなあというふうに話をしました。テーマは設定しておりません。

【Cグループ】

馬屋下小学校の是近です。小学校版ということで、行事のなかから小・中・高どんな行事をやっているか話し合っていて、ポイントをまとめてみました。小学校では1学期はオリエンテーションが重要になってくるなあという話をしました。中学校、高校になっていくと、コーナー展示とかが子どもたちに興味を持たせるような工夫ができる、そういう面白い取り組みをされていました。小学校では春の読書週間をしているところもあって、また朝の読書時間に先生たちを巻き込んで、予想しない先生がやって来て、読み聞かせをしてくれるとか、そういうサブライズをされているところもありました。春・夏の開館行事は、小学校は工作をしたりしていますが、中学校・高校になると子どもたちは常時使える図書館ということで、できるだけ開けていつでも立ち寄れるような働きかけをされていて、中学校であれば怖いお話をコーナー展示されていて、季節に合わせて展示をされているというようにお話でした。それから高校はALTによるイギリス文化の紹介がパワーポイントで行われたということで、ALTの先生を巻き込んで、図書館で文化の紹介展があったということです。また高校では、臓器移植が話題になったときにその関連の本を別置するなど、成長にあった取り組みをされていることが分かりました。

【Dグループ】

興除中学校の藤原と申します。中学校版を考えました。小学校・中学校・高校の取り組みとか現状をいろいろと教えていただいたんですけども、生徒の興味をひくような取り組みがたくさんありまして、小学校などは特に多く、大変勉強になりました。その中でおすすめの取り組みとして中学校でもやってみたら楽しいかなと思うのが、定期考査の最終日に国際理解などのイベントをするというもので、ALTの先生や知り合いの方などを呼んで何かイベントができたらなあというふうに思いました。それから雨の日の休み時間に読み聞かせや紙芝居をするというアイデアもありまして、それも生徒が図書室に来るきっかけになるのではないかなと思いました。

【Eグループ】

藤田中学校の田丸と申します。Eグループでは4月にはオリエンテーション、6月には梅雨の読書週間、秋にも読書週間で2回読書週間をする案がありました。おすすめとしましては、1月に日本文化に親しもうということで、百人一首大会をするですとか、百人一首をイラストに描いて展示をするというのができました。

【Fグループ】

玉島高等学校の川上です。Fグループは高等学校で、その高等学校の特色を科学に重点を置いた農業科のある学校というふうに設定して行事を考えていきました。その際に、図書館の中で何かを栽培して、実体験のある調べ

学習を行えたらなあということで何を植えるかということについて悩んだんですが、お花や果物だと見てきれいだけで終わってしまうので、そうではないものが何かないかということで、岡山地区の学校で緑のカーテンをゴーヤで作られている学校があるというふうな情報を入手しまして、ゴーヤを植えてみようということになりました。そのゴーヤも展開として、まずは緑のカーテンで環境学習になるということ。あとは収穫した実が佃煮とかピクルスになって保存食になる、食育につながる。あとはヘチマ水みたいな感じでゴーヤ水、無添加化粧品ができないか。茎や葉っぱから紙を作って、しおりや絵手紙が作れないかという感じで年間を通して行ってみたいと思いました。テーマは「科学への扉をひらく図書館 ～ゴーヤと共に～」で活動をしていきたいと思います。

【Gグループ】

瀬戸南高校の斎藤と申します。Gグループは高等学校版ということで、テーマを設定したんですが、「小学校・中学校・高校の交流」がテーマで、おすすめの取り組みとして夏休みを生かして、高校生が小学校・中学校を訪れて、1日目は科学会をしたり、2日目は読書会を開いたり、低学年向けに絵本を取り上げたりというのがあがっています。小学校・中学校・高校において図書だよりの交換をすると、異なった視点での意見がでたりして面白いのではないかという意見がでました。

4 おわりに

ワークショップ形式の研修はいかがだったでしょうか。時間配分等で不手際もあったかもしれません。お気づきの点等あれば、担当の方までお聞かせください。ここでの情報交換をまた自校でも生かしていただければと思います。